

作成日 2008年03月03日
改訂日 2012年5月7日(第4版)

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 ディブテレックス乳剤
会社名 保土谷UPL株式会社
住所 〒104-0028 東京都中央区八重洲二丁目4番1号 常和八重洲ビル
担当部門 事業部 営業グループ
電話番号 03-5299-8212 FAX番号 03-5299-8283
メールアドレス hodogayaupl@hodogaya-upl.com
緊急連絡先 保土谷UPL株式会社 事業部 営業グループ
電話番号 03-5299-8218
整理番号 0202

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分2
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分4
	急性毒性(経皮)	区分外
	皮膚腐食性・刺激性	区分3
	眼損傷/眼刺激性	区分2A
	皮膚感作性	区分1
	生殖毒性	区分1B
	標的臓器・全身毒性 (単回暴露)	区分1(中枢神経系、視覚器、 全身毒性)
標的臓器・全身毒性 (反復暴露)	区分3(気道刺激性、麻酔作用) 区分1(中枢神経系、視覚器)	
環境に対する有害性	水生環境急性有害性	区分1
	水生環境慢性有害性	区分2

*記載がないものは、分類対象外または分類できない

GHS ラベル要素:

絵表示



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報: 引火性の高い液体及び蒸気
飲み込むと有害

軽度の皮膚刺激
重篤な眼への刺激
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
生殖能または胎児への悪影響のおそれ
臓器（中枢神経系、視覚器、全身毒性）の障害
呼吸刺激を起こすおそれ、または眠気やめまいのおそれ
長期にわたるまたは反復暴露による臓器（中枢神経系、視覚器）の障害
水生生物に非常に強い毒性
長期的影響により水生生物に毒性

注意書き：

[予防策]

使用前に取扱い説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
指定された個人用保護具を使用すること。
容器を密閉しておくこと。
火花・裸火のような高温の着火源になるものから遠ざけること。一禁煙。
保護手袋及び保護眼鏡／保護面を着用すること。
容器を接地すること。アースをとること。
防爆型の機器を使用すること。
静電気対策に対する予防措置を講ずること。
火災を発生しない工具を使用すること。
取扱いの際には飲食または喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
粉じん／ヒューム／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

[対応]

環境への放出を避けること
火災の場合には消火に適切な手段を使用すること。
皮膚にかかった場合、直ちに汚染された衣服を脱ぎ、石鹼と流水で洗うこと。
飲み込んだ場合、気分が悪い時は医師の診断を受けること。口をすすぐこと。
皮膚刺激または発疹が生じたときは医師の診断／手当てを受けること。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して
いて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けること。
取り扱った後、よく手を洗うこと。
吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は医師に連絡すること。
汚染された衣服を再使用する場合には洗濯すること。
暴露または暴露の懸念がある場合は、医師の診断を受けること。
漏出物を回収すること。

[保管]

涼しく、換気のよい場所で施錠して保管すること。

[廃棄]

内容物・容器は自治体の規則に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 混合物
化学名および一般名 ジメチル-2, 2, 2-トリクロロ-1-ヒドロキシエチルホスホネート

(一般名：DEP、トリクロホン)

成分	DEP	メタノール	ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル	ヘキシルグリコール	乳化剤等
含有量 (%)	50.0%	34.0%	5.5%	2%	10.5%
化学特製 (示性式)	$C_4H_8Cl_3O_4P$	CH_3OH	$C_9H_{19}C_6H_4O(C_2H_4O)_nH$	$C_6H_{14}O_2$	—
官報公示整理番号					
化審法	なし	(2)-201	7-172	(2)-240	—
安衛法	2-(3)-110		既存		—
CAS NO.	52-68-6	67-56-1	68412-54-4	107-41-5	—
化学物質管理促進法	第1種・225		第1種・410		—

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 被災者を速やかに空気の新鮮な場所へ移動させる。異常が現れた場合には、直ちに医師の診療を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染された着衣、靴等を速やかに脱がせ、付着部を多量の水と石鹼でよく洗浄する。洗浄後、異常がある場合は医師の診療を受ける。
- 眼に入った場合 : 直ちに清浄な流水で15分以上洗浄する。眼球、眼瞼の隅々まで水がよく行き渡るように洗う。医師の診療を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 口の中をすすぎ、多量の水を飲ませ、直ちに医療処置を受ける。吐かせてはならない(揮発性液体を含むので、吐かせるとかえって危険が増すことがある)。意識のない時は口から何も与えてはならない。
- 治療法 : 本剤は有機リン系農薬を含む製剤のため、治療法としては硫酸アトロピン製剤又はPAM製剤の投与が有効との報告がある。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 粉末、泡沫、炭酸ガス、砂、水
- 消火方法 : 消火活動には適切な保護具(自給的呼吸保護具等)を着用する。加熱されることにより有害ガスが発生することがある。蒸気、煙等の吸入を避ける。消火水が下水や河川に流れ込まないように適切な処置をとる。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 処理作業の際には保護具(保護衣、保護メガネ、保護マスク等)を着用し直接触れたり、ガスやミストを吸い込まないようにする。
- 環境に対する影響 : 漏出した物質や洗浄水が河川、下水、湖沼、海域及び養殖池、植栽地、畑作業に飛散しないよう注意する。
- 除去方法 : 漏出物は土、砂等に吸収させ、密閉容器に回収する。その後、汚染された場所を水で洗う。
- 二次被害の防止 : 付近の人を風上に避難させ、周辺にロープを張るなどして漏出現場への人の立ち入りを禁止する。風下では作業をしない。付近の着火源となるものは取り除く。

7. 取扱及び保管上の注意

- 取扱い : ラベルをよく読むこと。
局所的排気装置を設置し、換気のよい場所で取扱う。
適切な保護具を着用し、ガスやミストの吸入したり、眼、皮膚に触れないよう注意する。
容器を開封する時は内容物の吹き出し、飛散に注意する。着火源となるものの付近では取扱いをしてはならない。かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。作業後は速やかに手足、顔等を石鹼でよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換する。

保管 : 容器を密閉し、換気の良い冷暗所に保管する。食物、飼料等と離し、無関係者、子供の手の届かない危険物・毒劇物倉庫に施錠して保管する。火気厳禁。盗難・紛失の際は警察に届ける。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 局所排気装置を設ける。取扱い作業場の近くに洗顔、洗面、うがい、安全なシャワー等の設備を設置する。

個人保護具 : 状況に応じた適切な保護具を着用する。
保護メガネ、ゴーグル、保護面、保護マスク、保護衣（不透水性の長袖、長ズボン）、エプロン、ゴム手袋（耐油性）など。

9. 物理的および化学的性質

物理的状态

外 観 : 赤色可乳化油状液体

比 重 : 1.15

p H(1%) : 3.6

引火点 : 12.5°C

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

融点 : 83~84°C

10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常の使用条件下では安定。

危険な反応 : 知られていない。

危険な分解物 : 燃焼すると有害なガス (HCl、CO 等) が発生する可能性がある。

11. 有害性情報

急性毒性 : 経口毒性 ラット♂ LD₅₀ 940mg/kg ♀ LD₅₀ 750mg/kg
マウス♂ LD₅₀ 1,100mg/kg ♀ LD₅₀ 1,100mg/kg
: 経皮毒性 ラット♂ LD₅₀ >5,000mg/kg ♀ LD₅₀ >5,000mg/kg
マウス♂ LD₅₀ >5,000mg/kg ♀ LD₅₀ >5,000mg/kg

局所効果 : 皮膚刺激性 ウサギ 軽微な刺激性。500倍希釈液は刺激性なし。
眼刺激性 ウサギ 刺激性あり。500倍希釈液は刺激性なし。

感作性 : モルモット 軽~中程度の感作性あり。

生殖毒性 : 区分1Bの物質(メタノール)を34.0%含むため、混合物として区分1Bに分類される。

標的臓器/全身毒性(単回暴露):

区分1(中枢神経系、視覚器、全身毒性)、区分3(気道刺激性、麻酔作用)の物質(メタノール)を34.0%含むため、混合物として区分1、3に分類される。

標的臓器/全身毒性(反復暴露):

区分1(中枢神経系、視覚器)の物質(メタノール)を34.0%含むため、混合物として区分1に分類される。

12. 環境影響情報

生態毒性

水産動植物に対する影響 : コイ LC₅₀ >101mg/L (96時間)

オオミジンコ EC₅₀ 0.00036mg/L (48 時間)
藻類 EbC₅₀ 20mg/L (0-72 時間)

13. 廃棄上の注意

法、条例に従って安全に処理する。または廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。
空容器は、内容物を使い切った後、3回以上洗浄し適切に処理する。洗浄液は河川、下水等水系に流さないようにする。農薬の空容器、空袋等の処理は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等関連法律を遵守し、適切に行う。

14. 輸送上の注意

国連分類 : 該当しない

国連番号 : 該当しない

輸送の特定の安全対策及び条件

: 容器に異常の無いことを確かめ、転倒、落下しないように積載する。包装、容器が破損しないように水濡れや乱暴な取扱いを避ける。

15. 適用法令

農薬取締法 : 第 3233 号

毒物及び劇物取締法 : 劇物 74 (医薬用外劇物)

危険物船舶運送及び貯蔵規則 : 引火性液体 クラス 3.2

消防法 : 危険物第四類第 1 石油類 (水溶性液体)

労働安全衛生法 : 施行令別表 1 危険物 (引火性の物)

: 表示対象物 (メタノール)

: 通知対象物 (メタノール、ヘキシレングリコール)

化学物質管理促進法 : DEP 第 1 種指定化学物質 政令番号第 225

ポリキソエチレンノニルフェニエーテル 第 1 種指定化学物質 政令番号第 410

16. その他の情報

記載内容は、現時点で当社が入手した資料・データ等に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、安全性を保証するものではありません。

又、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

中毒の緊急問い合わせ先 : 財団法人 日本中毒情報センター

中毒 110 番

一般市民専用電話

医療機関専用有料電話

(通話料のみ相談者負担)

(一件につき 2,000 円)

大阪 (365 日、24 時間対応)

072-727-2499

072-726-9923

つくば (365 日、9 時~21 時対応)

029-852-9999

029-851-9999

